

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 児童デイサービス・アニマートあおやま | | | | 公表日 | 令和7年3月14日 | | |
|----------|--------------------|--|-----|----|---------|---|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 合計 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 4 | 9 | 時間や活動内容でスペースを分けたり、外での活動も行いながら工夫している。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | 2 | 9 | 1人1人に更に手厚い支援を行うには、もう少し配置を行いたい現状加配含めて人員的には足りている。 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 4 | 9 | | 段差に補助階段を設置したり棚の角には保護カバー等をつける等の工夫を行っていく。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 2 | 9 | 季節によって壁画制作等を行いながら子どもたちの過ごしやすい環境作りを行えるよう心掛けています。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 9 | 0 | 9 | クールダウンを行う部屋等の確立を行っている。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | 1 | 9 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | 9 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | 9 | 月に1～2回の会議内で全職員が意見を出し合える場を設けている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 9 | 9 | 第三者委員会の設置はまだ行っていない。 | 第三者委員会の設置は今後検討していく。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | 0 | 9 | 内部研修及び適宜外部研修への参加を行う。 | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | 9 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | 1 | 9 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | 9 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | 9 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | 1 | 9 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 2 | 9 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 9 | 0 | 9 | プログラムは職員全員で立案している。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | 0 | 9 | 固定化しないよう意識して立案している。 | 学年幅も出てきており高学年も多くなっている為、学年に応じた活動を更に取り入れていきたい。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 0 | 9 | | 集団活動を毎日取り入れているが、個別活動のさらなる充実を目指していく。 | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|--|
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | 0 | 9 | 支援開始前には必ず児童情報含め共有・周知を行っている。 | 継続して実施していく。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 2 | 9 | 勤務時間の兼ね合いで支援終了時に振り返りを行えない場合もある。その際は翌日朝に共有・周知を行う。 | 〃 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 23 | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 7 | 2 | 9 | | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | 1 | 9 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 9 | 0 | 9 | 必要に応じ医療機関等も交えた会議を行っている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 9 | 0 | 9 | 必要に応じ行っている。 | 学校によって対応に差異があるため、やり取り内容に差があるため、どの学校とも更に共有等を行っていききたい。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 9 | 0 | 9 | 受け入れ前に必ず就学前に利用していた保育園等に訪問を行い情報共有を行っている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 0 | 9 | 9 | 障害福祉サービスに移行した児童がまだいない。 | 今後移行する児童が出てくるため、サービス事業所との連携を図っていく。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 0 | 9 | 9 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 5 | 9 | 同じくらしい学年の児童らと関わる機会はありません。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 0 | 9 | 9 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 0 | 9 | 9 | 送迎の際は児童らが学校に行っている午前中等に必要に応じ面談実施している。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 9 | 0 | 9 | 契約時に行っている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | 9 | 適宜実施している。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 9 | 9 | | 保護者から「必要」、「必要ない」との様々な意見が出ている状況。保護者からの意見を聞きながら検討していく。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | 0 | 9 | 苦情解決窓口設置して対応している。 | 何かあれば早急に対応しているが今後も継続して迅速に対応していく。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|-------------------------------------|--|
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 0 | 9 | 毎月配布及びSNSでの発信を行っている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 9 | 0 | 9 | 近隣高齢者施設との交流は行っている。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | 0 | 9 | マニュアル策定し、年に1回委員会内でマニュアルの見直し等を行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | 1 | 9 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 9 | 0 | 9 | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 9 | 0 | 9 | 事業所玄関へ掲示を行っている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | 9 | 毎月確認を行い、更に法人委員会内でも確認・検討を行っている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | 0 | 9 | 年に1回の研修、外部研修参加並びに委員会も実施している。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 9 | 0 | 9 | 身体拘束について説明を行ったうえで説明文書の配布も行っている。 | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | | 回収数 | | |
|--------------------------------------|--------|---|---------------|-----|-------|-----|---------------------------------|---|
| 児童デイサービス・アニマートあおやま | | 2025/3/14 | | | | 42名 | 36名 | |
| | チェック項目 | 利用児童数 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 24 | 4 | 0 | 8 | 移転してから見てないので分からない。 | 限りあるスペースを工夫して有効活用していく。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 25 | 5 | 0 | 6 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 33 | 2 | 0 | 1 | | スロープの必要性は現時点ではないが、必要に応じ適宜対応する。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 32 | 2 | 0 | 2 | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 32 | 4 | 0 | 0 | 理解してくれる職員もいる。そうでもない職員もいるように感じる。 | 統一した支援が行えるよう職員間での共有を強化し支援を行う。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 33 | 1 | 0 | 2 | | 支援プログラムは当事業所ホームページで公表している。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 35 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 32 | 2 | 0 | 2 | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 34 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 34 | 1 | 0 | 1 | | 今後も固定化しないよう様々な体験の場を設けていく。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 26 | 4 | 2 | 4 | 地域の方々や施設等の関わりやつながりはある。 | 同年代との児童と関わることはないが近隣高校や高齢者施設等の交流は実施している。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 36 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 33 | 2 | 0 | 1 | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 20 | 8 | 2 | 6 | | 家族に対してのペアトレ等は行えてない。必要に応じ情報提供等を行っている。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 33 | 2 | 1 | 0 | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 25 | 7 | 3 | 1 | 必要に応じ対応してもらっている。 | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 34 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7 | 2 | 12 | 15 | ・必要ない。 | 感染状況に応じて対応する。共働き世帯も多く必要性を感じていない保護者もいることから様々な保護者からの意見をお聞きしながら対応する。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|-----------------------------|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 33 | 2 | 1 | 0 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 33 | 3 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 33 | 1 | 0 | 2 | 毎月の手紙やラインでのお知らせ等、丁寧に対応してもらっている。 | 連絡帳や公式SNSを使用している情報伝達を行っている。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 35 | 0 | 0 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 34 | 1 | 0 | 1 | | 契約時に説明・配布を行っている。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 30 | 1 | 0 | 5 | | 年2回実施している。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 34 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 33 | 2 | 0 | 1 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 34 | 1 | 0 | 1 | 子ども自身が行きたい、行きたくないといった気持ちに波がある。 ・小学校から利用しているので安心感はあると思う。 | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 30 | 6 | 0 | 0 | 毎回楽しく通所している。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 34 | 2 | 0 | 0 | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|--------------------|-----|--------|-----------|
| ○事業所名 | 児童デイサービス・アニマートあおやま | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年2月1日 | | ～ | 令和7年3月7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 42名 | (回答者数) | 36名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年2月1日 | | ～ | 令和7年2月28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9名 | (回答者数) | 9名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025/3/7 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 活動プログラムの内容 | 固定化しないよう毎月、全職員での活動プログラムの検討に時間をかけて行っている。また利用者及び利用者家族からのご希望にも可能な限り添えるようプログラム作成を行っている。 | 児童の学年が上がってきていることもあるが、他福祉サービス事業所との連携強化も行いながら活動の一環としてプログラムが固定化されないようにしていく。 |
| 2 | 保護者への説明 | 毎月のお手紙、公式SNSを使用しての情報伝達は意識的に行っている。 | 連絡帳アプリ等の導入も視野に入れながら、今後も保護者の方が把握しやすい形で情報伝達を行っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 職員一人ひとりの意識共有 | 様々な利用者、職員が集まる場で、更に職員間での情報共有及び支援に向けた統一性を確立していく必要あり。 | ケア会議などは時間をかけて行っているが勤務時間の兼ね合いで参加できない職員への申し送り強化や、経験年数の浅い職員への支援方法の指導等、強化をしていく。 |
| 2 | 地域交流 | 現時点で、高校や高齢者施設の利用者との交流は年に4～5回ほど行っている。 同年代との交流は行えていないため、サービスにとらわれず交流範囲を広げて交流していけるよう検討をしていく。 | 児童館との交流や、地域の方への事業所開放等も行っていけるよう体制整備を行っていく。 |